

ダイヤランド区民の会会報

酉年の所感

区長 西村明男

あけましておめでとうございます。区民の皆様には昨年一年、ダイヤランドの自治活動を支えていただきありがとうございました。

新年を迎え、区民の会の活動について感じていることを申し述べます。

昨年は自然災害によって多くの方が苦しまれた年でした。ダイヤランドでも台風22号で道路陥没、屋根の損壊、土砂くずれ、倒木など大きな被害がありました。また新潟中越地震では山間地域での惨害が伝えられ、同じ条件下にあるダイヤランドにも危機感が拡がりました。このこともあり自主防主催の防災訓練には区民の関心が高まり、12月5日の「駿河湾大地震を想定した防災訓練」には未曾有の300人以上の方の参加がありました。今後とも区民の会、自主防が一体となりサービスセンターとの協力体制を緊密にしてダイヤランドの防災対策を活動の中心において推進していきたいと考えます。



昨年4月区民の会発足に当たり7つの部会を設置し、それぞれ専門的な活動を開始していただきましたが、短期間に意欲的な仕事ができたと感じます。各部会の活動については会報などで報告されているので省略しますが、将来につながるテーマも多く、引き続き活発な活動を進めていただきたいと思います。

区民の会の根幹となった組織は、役員、幹事、班長と700世帯近くとなった人たちとの連携です。4月に発足してから広報の配布や種々の連絡事項を通じ、少しずつ形ができつつあると感じます。今年はずっとコミュニケーションをよくし、また区民の会と自主防の組織一体化を進めたいと思います。

このほか「地域懇談会」や日常活動を通じて函南町政との連携が強化され、また玄岳山麓の災害対策にも県の調査が始まり具体的な進展がありました。

重要課題であるゴミ処理問題については、区民の自主的な署名活動（かじか沢地区で93人、箱根台地区で50人）に呼応し、対策を役員会、幹事会で協議し、サービスセンターへ改善申し入れを行いました。

まだまだやるべきことは多く、また活動の限界も感じますが、ダイヤランドを楽しく住みよい地域とするため今年も努力していきますので、区民の積極的な活動への参加をお願いいたします。

△ダイヤランド東部73地区の東側に建設中の【町民の森】で苗木の植栽と下草刈り作業が行われます。函南町企画調整課でボランティアを募集しています。

△1月30日（日）午前9～11時の予定

△町の人は役場駐車場午前8時30分出発のバスで来ますが、ダイヤランドの人は直接現地へ行った方がよいでしょう。4ページの地図を参照してください。

△参加申込みは企画調整課まで、Tel 979-8101 担当は遠藤さんです。締め切りは1月20日（木） 募集人員70名（先着順で定員になり次第締め切り）

△その際、直接現地へ行くと伝えてください。

△服装・持ち物 作業のできる服装（軍手は事務局で用意する） かま、なた、のこぎり（ある方）など・飲み物は各自用意。

△参加要領は広報函南お知らせ版1月を参照してください。町の行事ですが隣接しているダイヤランドとして協力しましょう。

「函南町の指定袋」に入れて ゴミを出しましょう

▼函南町の環境衛生課、ゴミ焼却場では燃えるゴミの処理において『町の指定袋』を使わないゴミは受け入れないほど厳しくなっています。

▼このダイヤランドでも意外なほど多くの方がスーパーの袋などで出しています。

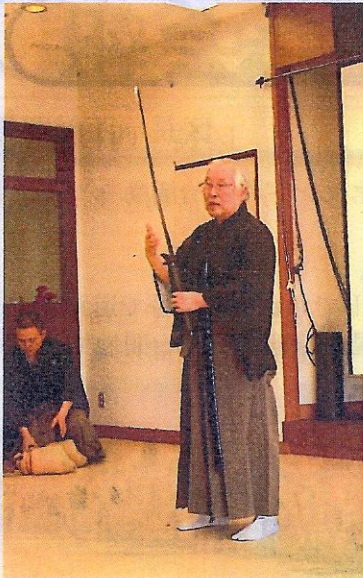
▼それらのゴミ袋は収集されず、コンテナの中に残されたままになっています。

▼サービスセンターは28ヶ所のゴミ置き場を回り、それらのゴミを『町の指定袋』に入れ直すという作業をしていますが、追いつかないのが現状です。その費用は環境整備費から出されています。私たちが負担しているわけです。

▼ゴミを出しに行ったとき、通りがかりにゴミ置き場に残されたゴミ袋の山を見たとき、誰もが不快を感じるでしょう。

▼分別はきちんとしていますか？

▼函南町の中で「ゴミ出しのワーストワン」と言われないようにしましょう。



「古武道と心身の健康」 講演と演武の会

10月26日(火)午後開催したこの会は、講師がここに別荘をお持ちであることから、ダイヤモンドホールが満席になるほどに区民が参集しました。

講師は小野派一刀流十七代当主で日本古武道協会理事や警察大学校講師などを勤めておられる 笹森建実氏と、演武を披露される 清水公大氏、高橋清司氏のお二人です。

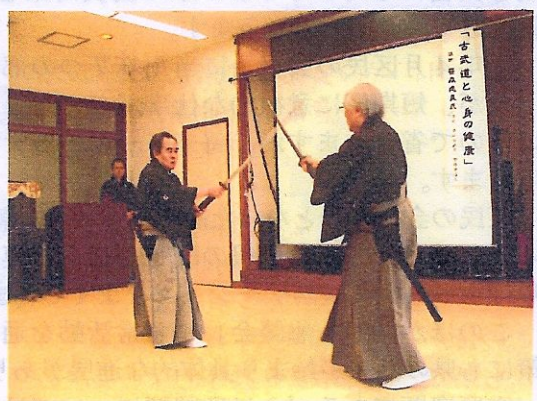
笹森講師は古武道の鍛錬を重ね技を深めるとともに、海外にまでこれを普及することに熱意を注いでおられますが、それが自らの心身の健康増進に有益であることを話されたあと、凄まじいばかりの技を演じられました。

腕にまとった分厚い籠手を打つ木刀の重く高い音、長尺の真剣を構

えて向き合う怖いほどのまなじり、切り下ろして相手の肉に触れる寸前にピタッと止まる切っ先。はっと眼を閉じてしまった。

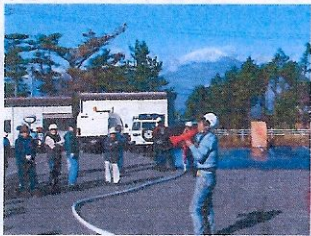
感動して弟子入りを希望する人もでるほどの活気ある集会でした、

笹森先生、清水先生、高橋先生 まことにありがとうございました。



▶自主防・防災訓練 12月5日◀

「駿河湾大地震を想定した防災訓練」には未曾有の300人以上が参加しました。風は強かったが富士山がはっきり望める好天でした。



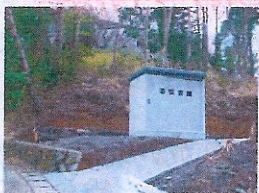
- 今回から改めた15カ所の地点に小児、小中学生ともども家族そろって集合したうえ、サービスセンター駐車場へ移動しました。函南町消防第2分団の方々の指導を受けて可搬ポンプ

による放水訓練を実施、見学したあと、小児を交えた多数でバケツリレーを行いました。

- バケツリレーははじめてやる人も多く、元気なかけ声とともに活気と和やかさが共存した訓練でした。

- 前日から準備してきたボランティア30余名による炊き出しのカレーライスを食べ、そのうえ非常食の五目飯までいただいて、昼前解散となりました。

▶防災倉庫が新設されました◀



- 本年度予算(町が3分の2、センターが3分の1)で設置が決まっていた新しい防災倉庫が同和火災(25-172)下の道路際に完成しました。

◆近い所では新潟中越地震、兵庫豊岡の大水害など、海外ではインド洋の大津波など災害が多発しています。防災用品の確保、避難場所・方法の確認など日頃怠らず、いざという場合に対応できるよう、心がけましょう。

✧街路灯7基設置決定✧

2基は函南町の予算で11月に設置済み、5基は東京電力の寄贈で2月までに設置予定。従ってダイヤモンドの自己負担はゼロです。

道 補修は第1警備室～モニュメント間、**路 第2源泉～第3源泉間**など大小規模10数カ所について11月中旬に、例年より4ヶ月早く完了しました。

～自主防犯パトロール～

【玄岳だより】(丹那駐在所発行)12月号で紹介されましたが、富岳会有志を含む15名で自主パトロール班を構成し、11月29日より実施しています。健康ウォーキングを兼ねて、無理せず、息の長い活動に取り組んでいます。事故、危害にあわないよう複数で実施しますが、趣旨に賛同される方を募集します。区民の会役員、または富岳会役員にお申し込みください。(随時)

環境保全・美化のためゴミステーションをいつもきれいにしておきたいものです。函南町の指定袋に入れてゴミを出しましょう。

＜環境整備・交通安全部会＞

クリスマスコンサート 2004.12.11

文化活動の充実と区民の交流を図るためこの山としてはまれなコンサートを開催しました。会場のキャパシティから定員を80名とし、インターミッションのケーキ、お茶代などで会費制(千円)としました。

12月7日午前10時から「森の里」ロビーで前売りしましたが30分前から行列ができ、10時30分には完売しました。



演奏者 VIOLIN 樽井直美さん(ダイヤランド在住)
PIANO 河合紳和さん(焼津市)

会場は ダイヤランドホール
「森の里」(インターミッション)

12月11日午後2時、J.S.バッハの「主よ、人の望みよ喜びよ」からコンサートは開幕しました。第1部9曲でインターミッションに移り、懇談の後第2部14曲を快く聴くことができ、「きよしこの夜」は全員のコーラスとなりました。

準備、会場の雰囲気づくりに尽くされた部員の皆さん、ピアノを調律して頂いた井上さんに、区民の感謝を伝えます。



【内視鏡事故 半数は医師のミス 厚労省研究班調査 03年、12人死亡】

これは朝日新聞 1月9日 3面の大見出しです。インターネット Yahoo! ニュースの「医療過誤」の第1ページでも十数件の事例が載っています。近頃、医療事故が全国的に増えているようです。

健康問題講演会 『医者のかかりかた (1) 総論』 講師 松井一郎氏

平成16年12月17日(金曜日)午後2時からダイヤランドホールにおいて、表題の講演会を開催した。45名が参加、聴講した。

講師の松井一郎氏は、元厚生省部長、元国立小児病院研究部長などを経て、今は介護老人保健施設「梅名の里」施設長。昨年春に小児科から老人科に転換された。区民の会副会長。

百歳の双子で日本中を元気づけた「きんさん、ぎんさん」との関わりなどを交えて医者のかかりかた、主治医(掛かり付け医)との関係などをわかりやすく話し、楽しい、次回を待たれる講演会であった。



【要旨】「医者が治療や薬のことをよく説明してくれない」ということを耳にします。医者もいろいろで、大学病院の教授・助教授、働き盛りの病院勤務医、開業医、若い医師から年取った医師まで…。同じ意味で患者も、病院通いに熱中する人、医者嫌いな人、いろいろです。しかし、全く病気の無い人以外は医療と無縁という訳にはいかない。患者-医師関係が生じます。

患者からみて、掛かり付け医は相性のあった人が良いのですが、そうはいかないことがあります。患者が医者とうり付き合ったら良いか、患者が医者に伝えねばならない情報、医者から聞いておかなばならない情報などを考えます。

これからの予定

1月22日(土) 役員会
2月26日(土) 役員・幹事・班長会
3月26日(土) 総会

年末にお願いした「募金」は、次のとおりサービスセンターに寄せられました。ありがとうございました。(昨年)

赤い羽根共同募金	58件(26)	26,000円(17,000)
歳末たすけあい募金	136件(115)	130,604円(105,235)

火の用心 マメに点検 ガスの元栓 消火器の位置

